

われら小千谷市消防団

No. 38

団報 火の見やぐら

火事と救急は119番

発行 小千谷市消防団本部（広報部）

2022年3月号



出初式一斉放水（サンプラザ駐車場に於いて）

令和3年4月から令和4年3月まで主な活動内容

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 4月・春の火災予防運動 | 11月・消防団施設点検 |
| ・辞令交付式 | ・秋の火災予防運動 |
| ・新入団員規律訓練 | ・ひとり暮らし高齢者宅防火訪問 |
| ・一人暮らし高齢者宅防火訪問 | 12月・第三級陸上特殊無線技士養成講習 |
| 5月・機関員講習 | ・車両交付式 |
| 9月・小千谷市総合防災訓練 | 1月・消防出初式 |
| 10月・第1回副分団長以上会議 | ・文化財防火デー |
| | 3月・第2回副分団長以上会議 |

新型コロナウイルス禍における消防団の対応について

今年度も新型コロナウイルス感染症対策として、年間計画の多くが中止等を余儀なくされました。また、行事の開催に於いては人数を制限するなど大幅な変更措置が取られ、感染防止がはかられました。

さらに小千谷市においては、令和3年7月下旬より消防団員のワクチン優先接種として約200人分を確保し、147人の団員がこれを利用して接種を行いました。

なお、消防団員等福祉共済では、新型コロナウイルスと診断され保健所等の行政機関の管理の下で宿泊治療・自宅療養した場合は、その療養期間についても入院見舞金の支給対象となります。また、公務従事中の濃厚接触による自宅待機等を余儀なくされた場合も、異例緊急の取扱いとして入院見舞金の対象となり得ますので、消防本部総務課へ連絡して下さい。

春の火災予防運動

春の火災予防運動が4月1日(木)から7日(水)の期間で行われました。今年度の全国統一防火標語は『**その火事を 防ぐあなたに 金メダル**』です。連日各分団による防火広報が行なわれましたが、残念ながら今年も小学生による一日消防署長は中止となりました。

消防庁長官表彰並びに日本消防協会表彰

消防庁長官定例表彰では、渡邊大明団員、位下利明団員に永年勤続功労章が授与されました。

また日本消防協会定例表彰より、功績章が間野修副団長、南雲美和子副分団長に、精績章が細金靖分団長に、勤続章が竹部伸一分団長、田中勝徳班長、池田茂生団員、廣井秀明団員、安達武夫団員に授与されました。

表彰式等が新型コロナウイルスの感染予防のため中止となりましたが、受章された皆様おめでとうございます。

辞令交付式 及び新入団員訓練

4月4日(日)、消防本部3階講堂に於いて消防団員辞令交付式が行われました。

辞令交付式に先立って消防団員互助会役員会が行われ、令和3年度互助会役員の選出や令和2年度事業報告及び収支決算報告、令和3年度事業計画などが了承されました。

辞令交付式では新たに昇任された幹部の皆さん、新入団員の皆さん1人1人に富井団長から辞令が手渡され、新入団員を代表して第4分団の新開貴行さんが宣誓書を読み上げました。



富井団長より辞令交付



宣誓書の読み上げ



新入団員は引き続き講堂にて座学を受け、終了後庁舎裏へ移動して規律訓練と機械器具取扱訓練を受け半日の研修が終了しました。



今年度はコロナウイルス感染拡大防止のため、例年同時に行われている幹部及び女性部の訓練が中止となったのは残念です。

一人暮らし高齢者宅防火訪問

4月26日(月)、27日(火)、令和3年春の火災予防運動に伴う一人暮らし高齢者宅訪問が行なわれ、女性部員が消防本部予防課職員及び社会福祉協議会職員と合同で防火チラシの配布並びに防火指導を行いました。

26日は大淵分団長が参加し、西中・谷内方面を回り、27日には森本団員が参加、池ヶ原・若栃方面を回りました。

令和3年度北魚沼地区支会 機関員講習会

5月9日(日)、北魚沼地区支会機関員講習会が小千谷市消防本部に於いて行われました。当日はコロナウイルス感染症対策により人数制限をし、各部内のポンプ1台につき1名の団員の参加となりました。



3階講堂にて基礎講座、水力学・構造の座学を受けた後、庁舎正面・裏へと分かれて実技講習が行われました。

今回の講習に参加した団員の皆さんには今回学んだ事を部の他の団員にも情報共有してもらい今後の活動に活かしてもらいたいと思います。



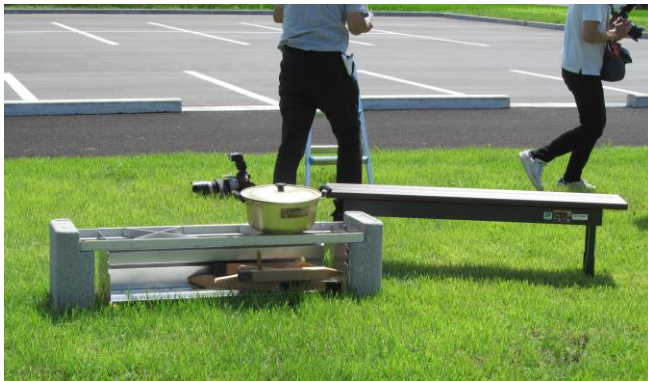
小千谷市防災公園竣工式

7月15日(木)、小千谷市防災公園の竣工式が行われ、消防団を代表して富井団長、佐藤東部方面隊長が出席しました。

式では大塚市長の式辞、本田市議会議長の祝辞の後、園児を交えてテープカットが行われ、閉式後に危機管理課職員より施設の説明が行われました。



大規模災害発生時には緊急避難場所となり、ヘリポートや仮設住宅用地となるスペースがもうけられ、かまどベンチやマンホールトイレなども設置されています。また、敷地内には防災施設も建設予定となっており、災害時の拠点となることも期待されます。



平常時は憩いの場として、遊具や東屋などが設置されているほか、防災協定を結んでいる自治体にちなんで桜の木が植えられ、成長が楽しみです。

現時点で夏場は日陰が少ないなど若干問題点はありますが、これから解決されていくと思われます。皆様ぜひ一度足を運んでみてください。



令和3年度小千谷市総合防災訓練

9月26日(日)、片貝総合センターを主会場に令和3年度小千谷市総合防災訓練が行われました。

訓練は、震度6強の地震で片貝地区を中心に被害が発生したとの想定で開始されました。

消防団はまず、市内全域で被害情報等収集伝達訓練を行いました。無線の対応は聞き取りやすく良好でしたが、やり取りや報告の内容にやや課題が残りました。

続いて第8分団は、主会場で自主防災会と合同でグループに分かれての訓練に参加しました。中でも今回注目をされたのが、初開催となる災害図上訓練でした。



これはDIG (Disaster Imagination Game) と呼ばれ、災害時を想定したシミュレーションを行い、行動や連携などを確認し課題を見つけ出す訓練です。日頃自主防災会との連携は少ない中で、消防署職員による的確な指導により、有意義な時間が過ごせたと思います。

他に段ボールベッドの組み立てを中心とした避難所運営訓練、救急隊の指導による負傷者応急処置訓練が行われ、団員は積極的に訓練を受けていました。



訓練に参加した皆さん、お疲れさまでした。

第1回副分団長以上会議

10月12日(火)、19時より第1回副分団長以上会議が消防本部3階講堂にて於いて行われました。

今回の会議も感染対策のため、参加人数を制限しての開催となりました。大塚市長、富井団長の挨拶で始まり令和4年度ポンプ操法競技大会の取組み等についての議題や下半期の消防団事業についてなどが話し合われました。



会議の中では女性消防団員の活動や農繁期の事業の開催に対する意見・要望が出るなど有意義な会議となりました。

消防団施設点検

11月7日(日)午前、消防団施設点検が巡回方式で行われました。

団本部員と消防本部職員がそれぞれに分かれて担当地区を巡回し点検を行いました。

各部の施設は整理整頓、管理がしっかりとされておりましたので今後も継続をよろしくお願いします。

また各部より多くの要望が出ましたが対応が不可能と判断されたもの以外は順次対応がなされていくと思います。



秋の火災予防運動

秋の火災予防運動が11月9日(火)から15日(月)の期間で行われました。

今年度の全国統一防火標語は

『**おうち時間 家族で点検 火の始末**』

です。

連日各分団による防火広報が行なわれましたが、新型コロナウイルスの影響により消防フェスティバルは今年も開催中止となりました。



ひとり暮らし高齢者宅訪問

11月18日(木)、19日(金)、秋の火災予防運動に伴い、ひとり暮らし高齢者宅への防火訪問が行なわれ、女性部からは18日に大淵分団長、19日には田中団員が参加され、消防本部予防課職員らと合同で防火チラシの配布や住宅用火災警報器の説明・点検などの防火指導を行いました。18日は山谷・城内、19日は城内・千谷川の各地区をアパート主体に延べ10軒ほどを回り、うち2軒のお宅では火災警報器の設置も行いました。

第三級陸上特殊無線技士養成課程講習

12月5日(日)、消防本部3階講堂に於いて第三級陸上特殊無線技士養成講習が行われ、約40名の団員が受講しました。

この講習は平成15年から3年ごとに開催されており、延べ240名が無線免許を取得しております。



車両交付式

12月12日(日)、消防本部に於いて消防団車両交付式が行われ、第4分団第2部小栗田と第6分団第2部芋坂・時之島へ積載車が交付されました。式では富井団長より交付書が各部長に手渡され、第4分団大平巧分団長が宣誓書を読み上げました。



その後メーカー担当者より機材の説明が行われました。車両もポンプも機能をよく理解し、的確な運用・管理に努めてください。



消防出初式

1月9日(日)午前、令和4年消防出初式が行われました。

二荒神社にて無火災祈願の神事が執り行われた後、本町にて間野副団長指揮の下、徒歩部隊、車両部隊による分列行進が行われました。

分列行進は昨年中止となったため、2年ぶりの開催となります。



分列行進後はサンプラザ駐車場にて横田訓練部長統括、富澤訓練副部長指揮の下、一斉放水が行われました。

朝からリハーサルを行っていたので素晴らしいバリエーション放水となりましたが、ポンプの燃料切れにより最後まで放水の出来なかった分団があったのは残念でした。



サンプラザ大ホールで行われた式典では無火災町内への表彰、新たに消防団協力事業所に加わった2社の事業所に認定証交付が行われました。

今回無火災表彰の町内の皆さんおめでとうございます。今後も継続をよろしく願います。



無火災表彰町内

100世帯未満（15年無火災）

上坪野(30年連続) 芋坂(30年連続) 茶畑(30年連続) 北山(30年連続)

100世帯以上300世帯未満（10年無火災）

該当なし

300世帯以上500世帯未満（5年無火災）

該当なし

500世帯以上（3年無火災）

千谷川(19年連続) 上ノ山(12年連続) 城内(3年連続) 千谷(3年連続)

小千谷市消防団協力事業所

・株式会社 魚沼電子 ・有限会社 諏訪部鉄工所

上記事業所が加わり、全部で17事業所となりました。

他に小千谷市では下記の事業所が参加しています。

- ・日本ベアリング株式会社
- ・株式会社第一測範製作所
- ・株式会社共栄農工社
- ・エヌ・エス・エス株式会社
- ・丸山建設株式会社
- ・越後おぢや農業協同組合
- ・阿部幸製菓株式会社
- ・株式会社北越トラスト
- ・ケーエスエス株式会社
- ・オヂヤセイキ株式会社
- ・ユキワ精工株式会社
- ・理研精機株式会社
- ・秀和建設株式会社
- ・エヌエスアドバンテック株式会社
- ・小杉土建工業株式会社

文化財防火デー

1月22日(土)土川町内の魚沼神社境内に於いて、文化財防火デーによる防火訓練が行われ、消防団からは本部員と第2分団が参加しました。

訓練は拝殿から出火したとの想定で開始され、神社関係者による初期消火や持ち出し訓練の後、到着した消防団本部員と消防署職員が現場指揮本部を設置、続いて第2分団が自主防災会や消防署職員らと連携し放水作業を行いました。送水に関して若干不手際が見えましたが、概ね訓練は良好であったと思います。



続いて、消防署予防課職員の指導で消火器訓練が行われ、その後富井団長、村山消防署長の講評などをいただき、訓練は幕を閉じました。

参加された皆さん、お疲れさまでした。



冊子掲載

日本消防協会 (<https://www.nissho.or.jp/>) 発行の機関誌、『日本消防』2021年8月号に「わが消防団の現状」と題されて久賀副団長のコメントが掲載されました。また、同誌内では車両の活用事例として小千谷市消防本部の取り組みも紹介されています。

今後のポンプ操法について

訓練部長 横田雅夫

日頃から消防団活動にご協力をいただき、大変ありがとうございます。

近年はコロナ対応のため、訓練の変更や制限が相次いでおります。令和3年度出場分団は、令和2年11月に選手名簿を提出、12月にポンプ操法基本訓練、3月までポンプ操法訓練を行いましたが、ポンプ操法競技会は中止となりました。令和4年度出場分団も同じ様に年をまたいで準備をして来ましたが、3月現在訓練は一時停止しています。

訓練が制限される以前に、訓練部はポンプ操法を見直しました。競技会で審査される規律・節度、敏しろう性、士気、安全性、操法要領遵守度の中で規律が全ての基本であると考え、規律を中心とした訓練を行いました。



訓練部は、ポンプ操法訓練だけでなく、迅速安全に放水できる消防団員を目標としていますので、今後も協力をお願いします。

女性部の活動紹介POP

9月25日に開催予定だった第4回新潟県女性消防団員活性化大会南魚沼大会は新型コロナウイルス感染予防の観点から中止となりました。大会へ向けて女性部の活動を紹介する見事なPOPが消防本部佐藤主査によって作成され、現在3階講堂前の廊下へ掲示してあります。是非皆さんご覧になってください。



編集後記

第四次整備計画に基づき、今年度は新しいヘルメットの支給がされました。配色はガンダムのような…はさておき、以前支給されたヘッドライトの装着率が低いようです。支給された装備品は身につけるのが基本です。ヘルメットに付けるのは意外と手間ですが、いざという時のために準備をよろしく願います。

さて、今年もコロナ禍の影響で団報ネタが少なく、年1回の発行となってしまいました。昨年同様、行事の少なさは写真の量で実感しております。早く以前の日常に戻ってほしいと切に願います。



団報 火の見やぐら No. 38

発行 小千谷市消防団本部
事務局 小千谷市消防本部総務課内
住所 小千谷市城内3丁目1番9号

TEL 0258-83-0236

FAX 0258-82-0209

Eメール syobou-soumu@city.ojiya.niigata.jp